

1. 化学品及び会社情報

製品名	: タキボンド#701 低臭タイプ
会社	: タキロンシーアイ株式会社
住所	: 〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
担当部門	: 安富工場 技術グループ
電話(緊急連絡先)	: 0790-66-2285
ファックス	: 0790-66-2378
作成日	: 2017年6月7日
改訂日	: 2023年7月14日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分4

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分3

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

記載がないものは区分に該当しない、もしくは分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 可燃性液体
強い眼刺激
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
推奨用途以外には使用しないこと。
開封した接着剤は、速やかに使い切ること。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

火災の場合 : 安全第一で、適切な消火剤を使用し消火すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断、手当てを受けること。
- 漏出した場合 : 乾いた砂やウエス等により、拭き取り回収すること。
- 保管 : 容器を密閉して直射日光の当たらない 5~35°Cで、換気の良い場所で、保管すること。
法令で定められた限度内で、場所を決めて保管すること。
- 廃棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名又は一般名 : ウレタン樹脂系接着剤

成分及び含有率

成分	含有率	CAS番号	官報公示整理番号 化審法	PRTR法	安衛法
希釈剤	25~35%	—	—	非該当	非該当
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)	1%未満	101-68-8	4-118	非該当	通知

含有率は参考値

本製品中のその他の成分に、毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法「表示、通知対象物質」及び化学物質管理促進法のカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を拭き取り、多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末ドライケミカル、二酸化炭素、泡消火剤、水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
- 消火をする者の保護 : 保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 多量の場合には流路を盛土などで囲って、流出を防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、紙や布で拭き取り焼却する。多量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。漏出量の多少に関わらず、漏出液を下水、河川、海洋等に排出させてはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 当製品を取り扱うときは保護眼鏡、ゴム手袋、換気が不十分な場合は有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 安全取扱注意事項 : 火気厳禁。
- 接触回避 : 水等の活性水素化合物と反応する為、それらとの接触は避ける。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し直射日光の当たらない 5～35℃で、換気の良い場所で、保管する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

	MDI
管理濃度（労働省告示第79号）	未設定
許容濃度（日本産業衛生学会：2022年）	0.05mg/m ³
許容濃度（ACGIH）	(2014年) 0.005ppm (TWA)

- 設備対策 : 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの換気のための装置を設置する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合、有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 手の保護具 : 状況に応じ、PE、ゴム製等の不浸透性の手袋を着用する。
- 眼、顔面の保護具 : 状況に応じ、側板付又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ、不浸透性の長袖作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粘稠液
色	: 灰色
臭い	: 僅かに臭気あり
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 下限: データなし 上限: データなし
引火点	: 72. 0°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
粘度	: 10, 000~20, 000mPa・s (25°C)
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1. 10~1. 40 (23°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性	: 通常の取扱い条件下においては安定。
危険有害反応可能性	: 湿気、加熱により反応して高分子化し、増粘、ゲル化を起こす。
避けるべき条件	: 混合物としての知見なし。
混触危険物質	: 混合物としての知見なし。
危険有害な分解生成物	: 混合物としての知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (50%致死量等を含む):

	MDI
LD ₅₀ (経口)ラット	>5,000mg/kg
LD ₅₀ (経皮)ウサギ	>5,000mg/kg
LC ₅₀ (吸入)ラット	1.51mg/L (4hr)

皮膚腐食性/皮膚刺激性	：	混合物としての知見なし。
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	：	混合物の濃度計算により、「区分2」とした。
呼吸器感作性	：	混合物としての知見なし。
皮膚感作性	：	混合物としての知見なし。
生殖細胞変異原性	：	混合物としての知見なし。
発がん性	：	混合物としての知見なし。
生殖毒性	：	混合物としての知見なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	混合物としての知見なし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	混合物としての知見なし。
誤えん有害性	：	混合物としての知見なし。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	：	混合物の濃度計算により、「区分3」とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	：	混合物の濃度計算により、「区分3」とした。
生態毒性	：	知見なし。
残留性・分解性	：	知見なし。
生体蓄積性	：	知見なし。
土壤中の移動性	：	知見なし。
オゾン層への有害性	：	知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃油と廃プラスチック類の混合物に相当し、処理は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

廃棄の際は危険性情報の反応性をふまえて処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、化学物質に関する一般的注意による。

国連番号	：	—
品名(国連輸送名)	：	—
国連分類	：	—
容器等級	：	—

15. 適用法令

労働安全衛生法	:	表示対象物質(第五十七条 施行令第十八条)… 非該当 通知対象物質(第五十七条の二 施行令第十八条の二)… 該当 (MDI)
化学物質管理促進法(PRTR 法)	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非危険物 (指定可燃物 可燃性液体類)
建築基準法(2003 年 7 月より)	:	使用制限なし

16. その他の情報(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

ホルムアルデヒド放散量に関する表示(JIS A 5536):F☆☆☆☆
4VOC 放散速度基準:日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-506318 4VOC基準適合
尚、当製品は、JIS A 5536(床仕上げ材用接着剤)製品認証を受けております。

参考資料 : 化学物質管理促進法対象物質全データ(化学工業日報社)
各社使用化学品の「安全データシート」
GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構)
GHSモデルSDS情報(安全衛生情報センター)

・この SDS は、令和 5 年 4 月 1 日改正施行の化学物質管理促進法の内容を反映しています。
・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
・取扱いに際しましてはご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。